



# 大 幼



令和5年度  
園長だより No.1  
令和5年4月28日

## 「始業式」・「入園式」 附属幼稚園の令和5年度がスタート！



今年度も園長通信「大幼<sup>たいよう</sup>」をよろしくお願ひします。時折この「大幼」が保護者の方々の話題のきっかけになることを期待して綴っていきます。

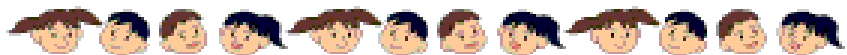
さて、4月10日（月）、令和5年度の園児たちの新生活が始まりました。まず、私から「謎の人物からの手紙」として進級お祝いメッセージを紹介しました。附属幼稚園のめざす子ども像に沿って、「たのしく」「やさしく」「あかるく」をキーワードにしなが、園児の心に届くよう願ひを込めて話しました。

すると次の日、園庭遊びの中でいざこざが発生した時でした、ある子が「たのしく・やさしく・あかるくでな—園長先生」と語りかけてきました。まさか園児の口からこの言葉が飛び出すとは思っていませんでしたので、驚くと共に嬉しい気持ちになりました。

4月14日（金）3・4歳一緒に入園式を開催しました。新入園児たちは、落ち着いた態度で参加できたことに感心しました。

今年一年をこの幼稚園を舞台にしてたくさんを経験するはずで、その中には嬉しい楽しいことや歓迎しないけれど悲しいこともきっとあります。その時々で、お子さんと保護者と保育者とで語り、より良い方向性を見つけ、共にそだっていけるようにご協力をよろしくお願ひいたします。

### サクランボ祭り



雨上がりの今週水・木・金曜日 4歳 5歳の園庭には、赤い実をつけたサクランボの木の周りに保護者と園児の笑顔がありました。

「園長先生、サクランボが赤くなっちゃんよ」会議の途中に駆け込んできた子、「園長先生、サクランボとっていい」と赤い実に興味津々な子「やっぱり食べたい」と気持ちが変わった子等、春の暖かな日差しに照らされながら赤く輝く甘酸っぱい実を多くの子が楽しんでいました。

しかし、楽しみにしていたのは幼稚園児ばかりではありません。お空の上から毎日様子を窺っていた鳥さんたちも同じ気持ちだったのではないのでしょうか？残りは鳥さんたちにもあげましようかね。

今年度は、園に実る果実や園庭で育てる野菜を保護者の協力を得ながら味わい、食する喜びの機会と捉えていますので、ご理解・ご協力をよろしくお願ひいたします。

